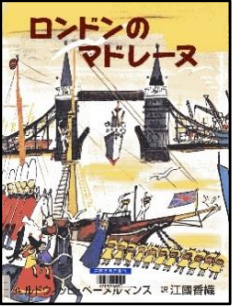
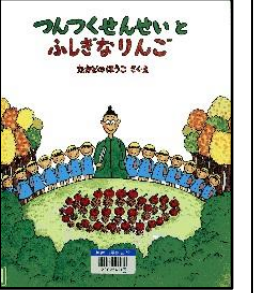
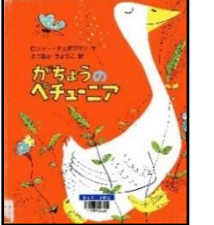
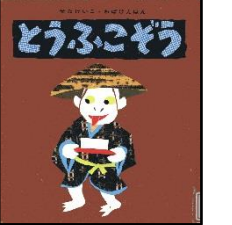
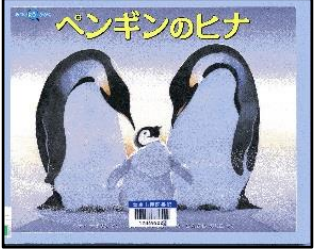
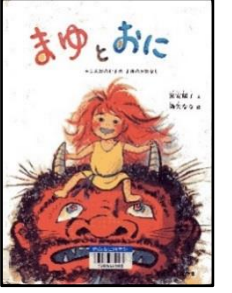
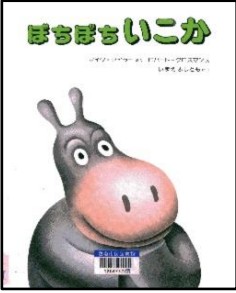


としょかんがすすめる なつやすみの本（ようじむき）

『からだのなかでドンドンドゥン』 木坂涼／ぶん あべ弘士／え 福音館書店（Ｅア・カ）  からだにみみをぴったりつけると、ほらきこえる。ドゥン、ドゥン、ドゥン。いぬも、ねこも、とかげも、ラッコも。からだのなかで、いのちのひびく音がします。	『ロンドンのマドレーヌ』 ルドウィッヒ・ベームルマンズ／作 BL 出版（Ｅベ・ロ）  マドレーヌたち 12 にんのおんなのこは、ロンドンへひっこしてから、げんきをなくしてしまったペピートにあいにいくことになりました。ところが、おくりものとしてよういしたうまがにげだして…。	『ぼく、お月さまとはなしたよ』 フランク・アッシュ／え・ぶん 評論社（Ｅア・ボ）  ある夜、くまくんはお月さまにたんじょう日のおくりものをあげたいとおもいました。でもお月さまのたんじょう日はいつ？ おくりものはなにがいいかな？ くまくんはお月さまにはなしかけます。	『つんつくせんせいとふしぎなりんご』 たかどのほうこ／さく・え フレーベル館（Ｅタ・ツ）  つんつくえんのみんなは、りんごのえをかいてからたべようと、おかのてっぺんへむかいます。でもそのとちゅう、どんぐりをみつけたつんつくせんせいは…。
『ねずみのすもう』 大川悦生／作 梅田俊作／絵 ポプラ社（Ｅウ・ネ）  むかし、あるところにびんぼうなじいさま、ばあさまがいました。じいさまがやまへいくと、むこうやまのほうから、おもしろいかけごえがきこえてきました。	『あしにょきにょきにょき』 深見春夫／作・絵 岩崎書店（Ｅフ・ア）  にわにおちてきたまめをたべたポコおじさん。すると、ひだりのあしがにょきにょきとのびはじめました。さて、おじさんのあしはどうなるのでしょうか。	『しあわせハンス』 グリム／原作 フェリクス・ホフマン／え 福音館書店（Ｅホ・シ）  7 年はたらいたハンスは、しゅじんからきんのかたまりをもらって、こきょうに帰ることにしました。そのとちゅうでおこったこととは？	『パンダくん パンダくん なにみているの？』 エリック・カール／え 偕成社 ビル・マーチン／ぶん（Ｅカ・パ）  パンダがみているのは、そらにとびたつハクトウワシ。ではワシがみているのは？ たくさんのどうぶつがでてくるたのしいえほん。
『がちょうのペチューニア』 ロジャー・デュボワザン／作 富山房（Ｅデ・ガ）  ほん本をひろったがちょうのペチューニア。本にしたしむものはかしこくなるときいて、かたときもをはなさずにいました。さて、ペチューニアはほんとうにかしこくなれるのでしょうか。	『とうふこぞう』 せなけいこ／作 童心社（Ｅセ・ト）  おてらのこぞうは、いぬにいじめられていたとうふこぞうをたすけ、ともだちになります。そのなかまから、みなみのくからこぞうがやってきたときくのですが…。	『ペンギンのヒナ』 ベティ テイサム／さく ヘレン K. テイヴィー／え 福音館書店（Ｅデ・ペ）  コウテイペンギンは、メスがうんだたまごをオスがあたためます。ペンギンのヒナがおおきくなっていくようすをみてみましょう。	『どれがぼくかわかる？』 カーラ・カスキ／ぶん・え 偕成社（Ｅカ・ド）  ウィリアムのことならなんでも知っているおかあさん。「もしもぼくがうまになったら、どれがぼくかわかる？」「もちろんよ」とおかあさんはこたえます。
『そうべえごくらくへゆく』（Ｅタ・ソ） たじまゆきひこ／作 童心社  うっかりしんで、じごくにおちてしまったそうべえたち。うんこの池にほうりこまれたけれど、えんまさんまでまきこんでの大そうどうは、なんとごくらくまでひろがってしまいます。さあて、どうなることやら。	『まゆとおに』 富安陽子／文 降矢なな／絵 福音館書店（Ｅフ・マ）  やまんばのむすめ・まゆは、そうきばやしでおにとであいました。ちょうどおなかのすいていたおには、まゆをたべてしまおうと、じぶんのいえにさそいます。	『ぼちぼちいこか』 マイク=セイラー／さく ロバート=グロスマン／え 偕成社（Ｅグ・ボ）  しょうぼうし、ふなのり、パイロット。いろんなしごとにしちゃうせんしても、どれもしっぱいしてしまうカバくん。でもだいじょうぶ。ぼちぼちいこか！	『はっぱのおうち』 征矢清／さく 林明子／え 福音館書店（Ｅハ）  さちがにわであそんでいると、あめがふってきました。はっぱのなかであまやどりをしていると、いろんなおきやくさまがやってきました。